

## 事業概略書

事業名	発達障害（読み書き障害、チック、吃音、不器用）の特性に気づくチェックリスト活用マニュアルの作成に関する調査
事業目的	読み書き障害、チック症や吃音症、不器用は顕在化しにくい発達障害と称されており、早期からの適切な支援につなげることが難しい実態がある。これらの発達障害の特性を就学前に評価できるツールを事業とりまとめ者は「19項目」からなるアセスメントシートとして開発した。本事業では本シートを全国展開し、チェックリスト（CLASP）活用法の分析調査を行い、使用における課題を把握すること、保育士等が現場で CLASP を有効に活用できるための実践や効果的な研修のための資料を検討し、普及に向けた活用マニュアルを作成することを目的とする。
事業概要	<p>事業とりまとめ者（稲垣真澄）は、事業担当者（金生由紀子、原由紀、原恵子、北洋輔、斉藤まなぶ）とともに全国の幼稚園、保育所、こども園（1都1道26県）合計154園の保育士・教諭に対して調査を行い、5-6歳幼児の様子（話し方、くせ、読み書き、運動）について評価を行い、評定者間信頼性の検討、評定による精査幼児の二次調査を行った。</p> <p>調査結果を元に、保育士・幼稚園教諭用の説明文を整備し、巡回相談担当者用の児童・保護者向け助言法、顕在化しにくい発達障害の概説資料をまとめた CLASP 活用マニュアルを作成した。</p>
事業実施結果及び効果	CLASP は数分で付けられる簡便性を持ち、活用マニュアルは5-6歳児の子どもに関わる全ての保育者・養育者に有用な情報と資料が掲載されるものとなった。保育士・幼稚園教諭用部分と巡回相談担当者用部分から構成される。マニュアルは平易であり、支援者にとって理解しやすい内容である。そしてマニュアル pdf 媒体は発達障害情報・支援センターHP に掲載され、誰でも何時でも利用可能な形式となっている。支援者向け講習会の基礎資料も含まれており、講義テキストにも利用可能で有用性が高い。マニュアルの全国普及に向けた取り組みが望まれる。
事業主体	郵便番号：187-8551 所在地：東京都小平市小川東町4-1-1 法人名：国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 電話番号/E-MAIL：042-341-2711 / inagaki@ncnp.go.jp

(注)

- 1 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するため、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。
- 2 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途実施した事業についての成果物を必ず提出すること。
- 3 「事業目的」、「事業概要」、「事業実施結果及び効果」について、それぞれ250字程度で簡潔に記入すること。